

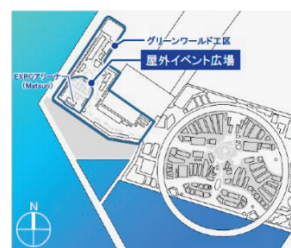
2025年日本国際博覧会 パビリオン・施設の紹介 (No.27)

EXPOアリーナ「Matsuri」(グリーンワールド工区)

【実施設計・施工・監理】鹿島建設・飛鳥建設共同企業体

EXPOアリーナ「Matsuri」
提供：2025年日本国際博覧会協会 ○エスエスステージ棟
提供：2025年日本国際博覧会協会 ○エスエス

グリーンワールド工区(以下、GW工区)エリアは万博会場である夢洲の西側に位置する。本工区では、瀬戸内海の美しい景観を望むことができ、バスやタクシーで来場者の玄関口としての大屋根(西ゲート)を備え、屋外イベント広場や、飲食物販店舗、未来社会の実証実験の場として次世代モビリティ(空飛ぶクルマ)を体験する施設が配置されている。



位置図

GW工区は廃棄物の最終処分場の上に覆土層を設けて埋め立てられたエリアである。べた基礎、及び布基礎を採用して、表層で確保されている 20kN/m^2 に排土により除荷される重量を加えた重量以下とした(図-1)。EXPOアリーナ「Matsuri」内の中心施設であるステージ棟は、鉄骨造のラーメン架構であるが、ステージ直上に舞台装置を配置するぶどう棚がある。意匠上のデザインにも寄与している鉄骨のトラス屋根架構を形成することで、本柱より15mの跳ね出しを実現し、トラス架構がインパクトを与える外観になっている(図-2, 3)。

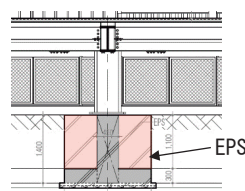


図-1 重量に配慮し EPS に置換

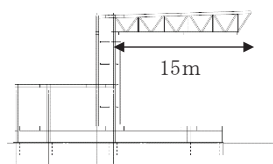


図-2 15mのトラス架構

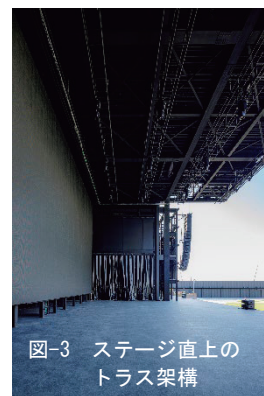


図-3 ステージ直上のトラス架構

提供：2025年日本国際博覧会協会

【EXPOアリーナ「Matsuri」の概要】

GW工区の西側、瀬戸内海を望むエリアに配置し開放的に約1万6千人を収容でき、祭りもできるような車両にも対応できる多様性に配慮したフレキシブルな屋外イベント広場である。上空からでも直ぐに認識できる存在感を高めた幾何学的床パターンを採用した。災害時、広場から周辺へ非難する場合は、15分以内に避難できる扉幅を確保し、他のエリアから避難してくる場合も想定している。

【設計概要】

- ・施設用途：屋外イベント広場、ステージ棟、楽屋棟、便所(東、西) FOH棟(事務所等) エントランスゲート(東、西)等 計11棟
- ・敷地面積、収容人数：4,673㎡、約16,000人
- ・基本設計：日建設計・日建設計シビル・パシフィック コンサルタンツ共同企業体

当施設の確認検査は、(一財)日本建築総合試験所が実施しました。